

平成 22 年 2 月 4 日
経 済 産 業 省

三菱電機株式会社が製造したブラウン管テレビ の使用中止の呼びかけについて

三菱電機株式会社が製造したブラウン管テレビにおいて、長期使用による経年劣化が原因と考えられる製品内部から発火する重大製品事故が 3 件発生しています。

このため、同社では事故の再発防止を図るために、本日、プレスリリースを行うとともに、ホームページで情報を掲載し、使用者に周知し、対象製品について、直ちに使用の中止を呼びかけることとしました。

これらの事故は、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき、管理番号 A200700293、A200700492 については、経済産業省が、管理番号 A200900635 については、消費者庁が重大製品事故報告を受け、それぞれガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故として、公表していたものです。

経済産業省としましては、当該製品をお持ちの方に対し、事故の再発防止のため、使用中止を呼びかけるものです。

1. 事象事象及び再発防止策について

三菱電機株式会社が製造したブラウン管テレビにおいて、当該製品内部から発火する事故が、3 件発生しています（いずれも人的被害無し）。

調査の結果、長期使用（製造から 15 年間以上）に伴う経年劣化によって、当該製品の電源基板から発火したものと考えられました。また、当該製品は、発火源となった電源基板に隣接して難燃性ではない樹脂製部品が配置された構造であったため、焼損が拡大したものと判明しました。

このため、同社では類似の構造を有するブラウン管テレビについて、今後も同様な事故が発生するおそれがあり、また、補修部品もなく、修理対応が不可能であるため、本日、プレスリリースを行うとともに、ホームページに情報を掲載して、対象製品について、直ちに使用の中止を呼びかけることとしました。

なお、同社では、平成 21 年 4 月より、ホームページ等において長期間使用した当該機種を含むブラウン管テレビについて、内部部品やはんだ付け部分が劣化し、発煙・発火するおそれがあるため、「電源スイッチを入れても、映像や音が出ない。」「上下、または左右の画像が欠けて映る。」「変なにおいがしたり、煙が出たりする。」などの症状がある場合は、直ちに使用を停止するよう注意喚起していました。

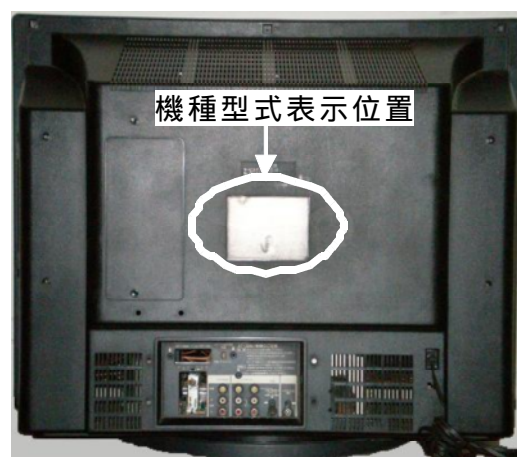
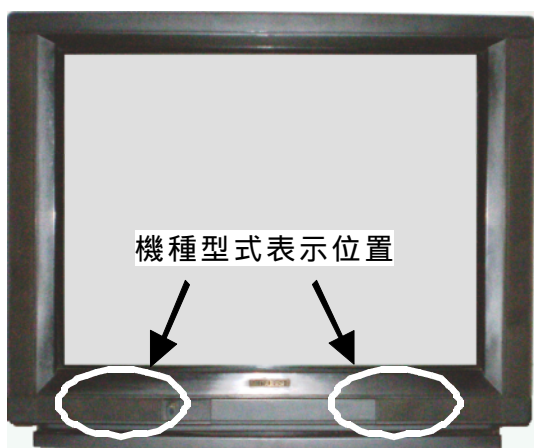
これら 3 件の火災事故は事故発生前に、画面が細くなったり、画面が出なくなるなどの故障状態となっていました。

2．対象製品：機種型式、製造期間及び対象台数

機種型式		製造期間	対象台数
三菱電機ブランド (14機種)	29C-AT1	1988年5月～1989年7月	39,300
	29C-AT81	1988年5月～1988年8月	400
	29C-AT91	1988年10月～1989年2月	1,000
	29C-AT1BS	1988年7月～1990年5月	13,100
	29C-BA1	1990年4月～1990年8月	20,000
	27C-AT1	1988年5月～1989年8月	16,000
	29C-AT2	1989年3月～1990年2月	48,600
	29C-AT92	1989年5月～1989年6月	500
	29C-DA2	1989年5月～1989年10月	5,000
	27C-AT2	1989年5月～1989年12月	18,600
	29C-AT3	1989年9月～1991年1月	58,760
	29C-AT93	1989年11月～1990年4月	900
	29C-A3Z	1989年10月～1991年1月	8,000
	27C-AT3	1989年9月～1991年1月	24,500
ブラザー工業ブランド (5機種)	CT29-844	1988年6月～1989年1月	800
	CT29-845	1988年8月～1990年5月	650
	CT29-846	1989年4月～1989年9月	900
	CT29-847	1989年11月～1990年3月	800
	CT27-742	1989年10月～1990年6月	1,100
合 計			258,910

3．対象機種型式の確認方法

キャビネット正面及び背面の銘板に記載されている機種型式をご確認ください。
本体形状は機種型式によって異なります。



4．事業者の告知

- ・プレスリリース：2月4日（木）
- ・ホームページへの情報掲載：2月4日（木）

5．消費者への注意喚起

上記対象製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止していただき、下記問い合わせ先にご連絡ください。

（お問い合わせ先）

三菱電機受付センター

- ・フリーダイヤル：0 1 2 0 - 2 5 0 - 3 9 5
- ・受付時間：9：00～19：00（2010年2月28日まで毎日）
9：00～17：00（2010年3月1日以降、土・日・祝日を除く）
- ・ホームページ：<http://www.mitsubishielectric.co.jp/oshirase/ctv1001/>

（本発表資料のお問い合わせ先）

商務流通グループ製品安全課製品事故対策室長 藤代
担当：横田、吉津、山崎

電話：03 - 3501 - 1511（内線：4311）
03 - 3501 - 1707（直通）

■当該注意喚起情報(使用の中止)における消費生活用製品の重大製品事故一覧

別 紙

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200700293	平成19年7月14日	平成19年8月3日	テレビ(ブラウン管型)	29C-AT3	三菱電機株式会社	火災	当該製品の側面が焼損する火災が発生した。分解したところ、電源基板の一部が焼損していた。電源基板内水平偏向回路のコンデンサのはんだ付け部が長期間使用による経年劣化で、はんだの接続不具合が生じ故障状態となり、この状態で使用を継続したため、絶縁劣化が進行した(映像は出ず、音声だけを聞いていたとのこと。)。絶縁劣化の進行は、はんだ付け部で微小な放電が発生したか、又は、基板面の汚損湿潤あるいは導電性異物の侵入ノ混入により生じたと推定される。	大阪府	平成19年8月7日に、製品起因が疑わしい事故として公表していたものの、製造から15年以上経過した製品。平成22年2月4日から使用中止の呼びかけを実施。
A200700492	平成19年9月26日	平成19年10月4日	テレビ(ブラウン管型)	29C-AT2	三菱電機株式会社	火災	当該製品のスイッチを入れた際に、当該製品周辺より発煙し、煤で部屋が汚損した。事故原因は、当該製品の電源基板のパターンが断線したことから、異常な電流が流れて故障状態(事故発生前から画面が暗く、正常に映らなくなっていた。)を呈し、基板上の抵抗が異常発熱し、それにより基板が炭化し、基板の絶縁性が失われ放電を生じて発火に至ったものと考えられた。	千葉県	平成19年10月10日に製品起因が否かが特定できない事故として公表し、平成20年4月4日に、製品起因が疑わしい事故として公表していたもの。製造から15年以上経過した製品。平成22年2月4日から使用中止の呼びかけを実施。
A200900635	平成21年11月2日	平成21年11月11日	テレビ(ブラウン管型)	29C-AT2	三菱電機株式会社	火災	教育施設で使用されていた当該製品の電源を入れたところ発煙・出火し、当該製品を焼損し周辺を汚損した。長期使用による経年劣化によって電源基板から発火したものと考えられたが、電源基板の焼失が著しく原因は特定できなかった。なお、事故発生前に画面が細くなった後、映像が出なくなっていた。	石川県	平成21年11月13日に、消費者庁において、製品起因が疑わしい事故として公表していたもの。製造から20年以上経過した製品。平成22年2月4日から使用中止の呼びかけを実施。